

I 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分は著作権の都合上、公表できません。

(出典：読売新聞 2024 年 5 月 5 日朝刊 社説『五感を高める体験を大切に』より)

問 1. 上の新聞記事の内容を 200 字以内で要約しなさい。

問 2. 下線部①についてのあなたの考えを、あなたが経験した自然体験をもとに 200 字以内で述べなさい。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分は著作権の都合上、公表できません。

(三宮麻由子 『目を閉じて心開いて』 岩波書店 2002年)

問1. この作者の最も重要な主張は何か、100字以内で書きなさい。

問2. 下線と類似するような自己の経験について300字以内で述べなさい。

教育学部教育学科 学校推薦型

解答例 出題意図

I

【解答例】

問 1	昨年インターネット利用の実態調査で、子どもの利用時間が2年前より30分伸び約5時間となっていた。長時間スマホを使うことは健全ではない。自然体験は子どもの自己肯定感を高め、ボランティアや農作業等の体験も有効である。子どもがスマホから離れ、五感を通して得られる現実の体験を大切に活動できるような遊び場の確保と整備が必要である。また、社会全体で子ども一人ひとりの成長を支える意識を持つことが大切である。 (199文字)
問 2	私はこの調査結果に同意見である。その理由は以下のものである。私は、小学生の時、野外活動で泉ヶ岳登山を経験した。その時、私は、沢の水で手を洗った時の水の冷たさに驚いたり、林道を進む時に初めて聞いたキツツキの木をつつく音に感動したりした。また、苦勞して山頂にたどり着いた時の達成感は今でも忘れられない。これらの経験で得た五感を通じた自然体験や自己肯定感が今の私を形作っていると考えからである。 (195文字)

【出題意図】

問 1. 論旨を踏まえ、的確に要約する力と文章構成力があるか。

問 2. 筆者が紹介した調査結果に対し、自らの経験を踏まえて説得力のある文章を書くことができるか。

II

【解答例】

問 1	絶望した本人にとっても、それを見守る周りの人々にとっても、大事なものは嘆きに甘んずることなく立ち直りたいと願うことであり、次の希望を見つけるために熱く燃えられる何かに魅せられることである。(93文字)
問 2	私がこれまでで最も絶望したのは、大学4年の時、教員採用試験に落ちたときである。同じ美術学科の同級生たちは皆合格し、私だけが落ちてしまったのである。教員になること以外に何も考えていなかった私は、目の前が真っ暗になり、どうしてよいかわからない状態になった。学科の教員たちも、皆そろってなぜ落ちたのか信じられないという表情をするだけで、途方に暮れている様子であった。しかし、一人の教員は私に、こんな時こそ作品を作りなさいとアドバイスし、研究生として大学に残る道を示してくれた。その教員は、がんで入院していた母親が亡くなった時にも、同じように、こんな時だからこそ作品を作りなさいとアドバイスしてくれた。(297文字)

【出題意図】

問 1. 作者が最も主張したいと考えていることを問う問題

問 2. 作者が行った絶望したときに希望を見つける方法と類似した自己の経験を簡潔に述べる問題。